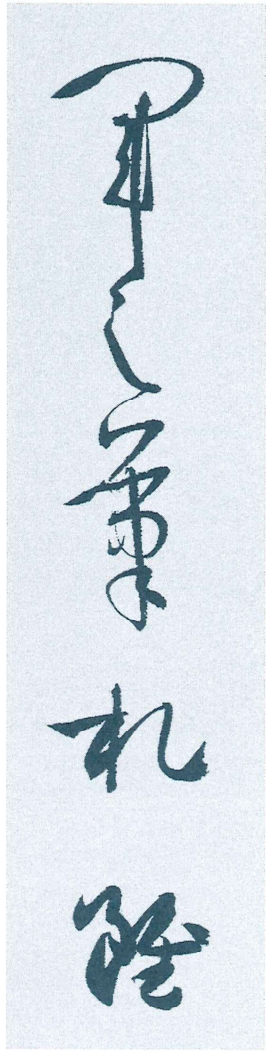


※各問の出典の記入は自由とする。

問一 次の文字を、楷書・行書・草書・隷書の四体で書きなさい。

山 月 夜 窓 寒

問二 次の『書譜』を、解答欄の大きさにあわせて調和よく臨書しなさい。



(軍之筆札雖)

問三 次の質問に、漢字で答えなさい。

- 1 平安時代の三跡を答えなさい。
- 2 秦の始皇帝が統一した字体を答えなさい。

問四 次の文章を、漢字は行書、または、草書で調和よく書きなさい。

花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは。雨に向かひて月を恋ひ、垂れ籠めて春の行くも知らぬも、なほ、あはれに情け深し。咲きぬべきほどの梢、散り萎れたる庭などこそ、見どころ多けれ。

(「徒然草」より)

問五 次の俳句を、調和よく散らし書きしなさい。漢字は仮名に変えてもよい。

(連綿や変体仮名をいくつか使います)

夏河を越すうれしさよ手に草履 (与謝蕪村)

問六 次の詩を、問六解答用紙に情趣を考慮しながら筆ペンで調和よく書きなさい。

(ふりがなは書かないこと)

山のあなた

カール・ブツセ

山のあなたの空遠く

涙さしぐみ かへりきぬ

「幸」住むと人のいふ

山のあなたになほ遠く

噫 われひとと尋めゆきて

「幸」住むと人のいふ